

展望台

NPO安房文化遺産フォーラムの事務局だった館山市館山の小高記念館が、クラウド・ファンディングによって、古民家風のカフェに生まれ変わった。その名も「TRAYCLE (トレイクル) Mark et & Coffee」。

昨年12月にオープン、今年3月から10人限定の「TRAYCLE Cinema」も始めた。クラウド・ファンディングとは、聞きなれない言葉である。不特定多数の人がインターネット経由で、他の人々と組織に財源の提供や協力などを行うこと。「群衆」と「資金調達」を組み合わせた造

語である。

カフェのオーナー、知識淳悟さん(40)は鹿児島県出身。一昨年末まで、話題の豊洲に住み、10年以上、都心のIT企業に勤めた。パソコンとにらめっこする毎日だった。店を切り盛りする妻の絵理子

した。館山市の文化交流の拠点小高資料館となるが、1997年、所有者の嘉郎さんが亡くなって閉館した。その後、2008年からNPO安房文化遺産フォーラムの事務局となり、2015年11月、国の有形文化財に登録された。

クラウド・ファンディング

ここから 館山港まで 100歩もない。港を望む海辺の街中にボツンと軒だけ残された、古い港町の風情を感じさせる白い洋館。週末の午後7時から、映画の上映会。興味深いテーマのドキュメンタリー映画が1500円(コーヒーカーボ茶、クッキー付き)で楽しめる。予約が必

さん(40)とは職場結婚である。その後、船橋市に移り、地下鉄東西線の満員電車も経験した。絵理子さんの祖父が、館山名譽市民である故・小高嘉郎さんだ。大正初期に建てられた古川銀行鴨川支店を昭和初期に現在地に移築

要という。薄暗がりの中に浮かび上がる店舗は、港町の風情を感じさせてくれる。先の大戦が終わって間もない1945年9月、アメリカの占領軍が初めて館山に上陸した事実が、意外と知られていない。この洋館にたずむと、敗戦から日本の再生を歩み始めた館山の歴史を垣間見ることが出来る。電話は、0470-49-4688。営業時間は、午前11時から午後6時まで。月曜日、火曜日が定休日。安房文化遺産フォーラムの愛沢伸雄理事長は「こうした形で館山の文化遺産が守られ、市民に継承されていくのがうれし」と話している。